

令和 5 年度第 1 回朝来市環境審議会 議事録

日時：令和 5 年 8 月 28 日（月）

14：00～16：00

場所：朝来市役所西館 201 会議室

<出席委員>

石田会長、高品副会長、増原委員、岸野委員、衣川委員、天野委員、近藤委員、西垣委員、山田委員、村上彰委員、馬場委員、村上玖委員、山畠委員、下村委員

<欠席委員>

岡田委員、藤本委員

<事務局>

岡林市民生活部部長、足立環境推進室副室長、波多野環境推進室室長補佐、中屋環境推進室係長、清水都市政策課長

<議事>

- 1 開会
- 2 委嘱書交付
- 3 あいさつ
- 4 委員・職員の紹介
- 5 環境審議会の概要
- 6 正副会長の選任
- 7 諮問

8 協議事項

- (1) 計画の基本的事項について
- (2) アンケート調査（案）について
- (3) 今後の進め方について

<協議内容>

(1) 計画の基本的事項について

【委託業者】資料1について説明。

【委員】次回の会議では温室効果ガス排出量の推計結果が示されるとのことだが、森林吸収量も含めた朝来市としての数字が示されるということか。

【事務局】そのとおりである。

【委員】今年度から来年度にかけて地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定するスケジュールになっているが、2025年度から予算を付けて具体的な取組を進めていくという認識で良いか。

【事務局】そのように考えている。

【委員】朝来市の温室効果ガス排出量については、国や県の統計データを按分して推計していくことになる

と思うが、環境省から開示されている温室効果ガス排出量を多量に排出する事業者と比較するなどの検討もあわせて行ってほしい。

スケジュールについて、第 4 回審議会の協議事項が重たいように思うので、温室効果ガス削減目標（案）など協議事項の一部を第 3 回審議会に前倒しできるか検討してほしい。

【事務局】温室効果ガス削減目標（案）を前倒して提示できるよう進めていく。

【会長】環境審議会とは別に部会を設置して検討を進めていくという理解で良いか。

【事務局】今年度は地球温暖化対策実行計画（区域施策編）が中心なので環境審議会のみとしているが、来年度は環境基本計画や生物多様性地域戦略の策定も進めていきたいと思っているので、部会の設置も含めて考えていきたい。

【委員】県内でも先行して取り組んでいる自治体があると思うが、朝来市として今年度から取り組んでいくことについて何か意図があるのか。

【事務局】他の計画の策定や予算の兼ね合いなどもあり、今年度からの策定となっている。

【会長】着手する時期が遅くなるほど、2030 年度の目標設定が難しくなると思うので、削減目標の設定が重要になってくる。

朝来市における平均気温の推移のグラフについて、直線は回帰分析によるものか。

【事務局】直線回帰の結果を示している。

【会長】最終的な計画書に掲載する場合には注釈を付けてほしい。

(2) アンケート調査(案)について

【事務局】資料 2 について説明。

【委員】依頼文について、4～6 行目を太文字にしたり、分量を少なくしたりするなど、朝来市として市民や事業者は何をお願いしたいのかが分かりやすくなるようにしてほしい。QR コードを付けてインターネットでも回答できるようにしていることは良いと思う。

【会長】ポイントを絞って簡潔にできるように工夫してほしい。

【事務局】ご指摘を踏まえて修正する。

【委員】中学生用についても調査票だけではなく、趣旨を説明した文章を付けてほしい。また、対象を中学 2 年生としている理由を教えてほしい。中学生については 3 年生の方がしっかり考えることができるので、良い結果が得られるのではないか。

【事務局】中学 3 年生に変更する。

【会長】中学生は自分でスマートフォンを持っているのか。あるいは親に回答してもらうのか。

【事務局】全員にタブレットが配付されている。アンケート調査の目的については、お知らせなどで記載するようになりたい。

【委員】市民アンケート調査については、配布人数を 1,000 人としているが、アンケート調査の有意性の観点からみて 1,000 人で良いのか。また、市民アンケート調査の問 19 については回答するのが難しいと思うので、説明があった方が良いのではないかと。

【事務局】アンケート調査については一般的に 400 件回収できれば有意性が確保できる。今回の市民アンケート調査については 40%の回収率を想定しており、この回収率が満たされれば有意性は確保できると考えている。

問 19 の設問文については、再度検討したい。

【委員】問 19 について、2030 年度は 2050 年のカーボンニュートラルに向けた中間点であることが分かるようにしてほしい。

問 20 の選択肢に適応策が入っているが、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）では適応策

を含めるのか。

【事務局】適応策を含めるかについては検討する。

【委員】問 3 について、健康被害として具体的に熱中症という言葉があった方がイメージしやすいのではないか。

中学生アンケート調査については、中学生には難しいように思う設問もあるため、現場の先生にも確認してもらった方が良いのではないか。

市民アンケート調査の回収率は 40%を想定しているとのことだが、調査票の配布には市の封筒を使用するのか。また、回収率を向上させるために自治会を通じて配布することは難しいか。

【事務局】調査票の送付には市の封筒を使用する。

【委員】区長会の状況がそれぞれ異なるため、自治会を通じて一斉に配布するのは難しい。

【事務局】今回のアンケート調査とは別に広報紙に QR コードを掲載することも検討したが、重複して回答される可能性もあるため悩ましいところである。

【委員】朝来市が今後どのようにカーボンニュートラルに向かっていくべきなのか検討できるよう、森林や農地、自動車の保有率といった地域特性を反映するなど、市の現状に合ったアンケート調査になるよう工夫してはどうか。

【会長】地域特性を出せるかについては事務局で検討してほしい。回収率についても、できるだけ上げられるよう工夫してほしい。

【委員】個人的には QR コードよりも紙の方が答えやすいが、より多くの市民の目に触れるという点で、広報紙に QR コードを掲載するのは良いと思う。

【会長】市民アンケート調査の問 9 について、自由記述の設問が途中にあるのは違和感があるので、最後の方が良いのではないか。

【委員】水田面積もけっこうある。農業に関しても温室効果ガスの算出に加味していただきたい。

【事務局】相談して検討したい。

(3) 今後の進め方について

【事務局】市民課環境推進室所管 計画策定スケジュールについて説明。

【会長】生物多様性地域戦略について、事務局ではどのように進めていきたいと考えているのか。

【事務局】現在は朝来市における生物のデータ収集などの準備を進めている。生物多様性地域戦略の策定については、データ収集にどのくらい時間がかかるかにもよるが、部会を設置することになれば、そこらでも議論いただきたいと考えている。

【会長】朝来市における生物多様性の現状や課題を把握しておく必要があるため、基礎的なデータは整理したうえで策定した方が良いと思う。地域性が重要であり、他の自治体と同じような戦略を作っても意味がない。また、基礎的なデータは市民の意識醸成のためのツールとしても重要になると思う。

【委員】コウノトリについては、餌となる生き物を育むことが重要であるが、近年では生き物の数が減ってきているように感じる。そのような現状を把握したうえで、対策を講じていく必要があると思う。

【会長】事務局からの提案としては、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）、環境基本計画及び生物多様性地域戦略を環境審議会だけで議論していくことは難しいため、別途部会を設置して議論していきたいとのことだが、いかがか。

【事務局】来年度については、環境基本計画は環境審議会でも議論いただき、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）及び生物多様性地域戦略は部会で議論いただきたいと考えている。

【会長】特に意見がなければそのような進め方で良いと思う。

以上